

日曜

4年

教科名	科目名	履修条件		必履・選択必履・選択の別	担当教員
国語	国語表現	現代の国語と言語文化を履修していること		選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
前期 2	前期 9	前期 4	前期 2	前期 6	前期 9月 2日
後期 2	後期 9	後期 4	後期 2	後期 6	後期 1月27日

教科書・学習書等	国語表現（国表701 大修館書店） 学習書	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
前期	第1回	言葉と出会う①〈言葉と表記・話し言葉と書き言葉〉		P12~P15 P20	1	5月10日		
	第2回	言葉と出会う②〈原稿用紙の使い方〉		P26~P27 巻末資料	〃			
	第3回	相手に応じた言葉遣い〈敬語を使い分ける〉		P21 P232~P233	2	5月17日		
	第4回	絵や写真を見て書く		P16~P19 P42~P45	3	5月31日		
	第5回	読書のひろば		P170~P184	4			
	テスト	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	
	第6回	スピーチをしよう		P156~P157	4	7月5日		
	第7回	面接①〈効果的な自己PR〉		P96~P97	5	7月19日		
	第8回	面接②〈履歴書の書き方〉		P110~P113	6	8月26日		
	第9回	面接③〈面接にチャレンジ〉		P108~P109	〃			
テスト	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

後期	第1回	手紙のいろいろ〈日本一短い手紙〉		P128~P133	7	10月25日		
	第2回	手紙の書き方		〃	〃			
	第3回	小論文とは何か 反論を想定して書く		P54~P61	8	11月15日		
	第4回	統計資料を読み取って書く		P66~P69	〃			
	第5回	発想を広げて書く		P70~P73	9	11月29日		
	第6回	言葉で遊ぶ〈今年の漢字〉		P186~P191	10			
	テスト	第3回テスト（範囲：レポート7, 8, 9）		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	
	第7回	相手や場面に応じた会話 電話を使いこなす		P152~P155 P134~P135	10	1月10日		
	第8回	メディアと情報①〈新聞記事を読む〉		P144~P145	11	1月17日		
	第9回	メディアと情報② 〈メディアを考える・メディアを比較する〉		P226~P227	12	1月20日		
テスト	第4回テスト（範囲：レポート10, 11, 12）		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 必要面接時間数は4回ですが、レポート作成に必要な資料を提示・配布するので、全てのスクーリングに出席するよう心がけること。 レポートの提出期限を守り、本試験での受験を心がけること。
--------	--

日曜

4年

教科名	科目名	履修条件		必履・選択必履・選択の別	担当教員
地理歴史	世界史探究	「歴史総合」履修後		選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
前期 2	前期 9	前期 2	前期 2	前期 6	前期 9月2日
後期 2	後期 9	後期 2	後期 2	後期 6	後期 1月27日

教科書・学習書等	教科書「世界史探究」(東京書籍:世探 701) 学習書「最新世界史図説 タペストリー 二十四訂版」(帝国書院)	成績評価の方法	平常点(授業態度)、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題の解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の表現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲(レポート番号)	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月26日	世界史へのまなざし 西アジアと地中海周辺		p.12 ~47	1	5月17日		
第2回	5月10日							
第3回	5月17日	南アジア 東南アジア		p.22~87 p.164~166	2	5月31日		
第4回	5月31日	東アジアと中央ユーラシア		p.33 ~95	3	6月7日		
第5回	6月7日	まとめ						
前期 テスト	6月21日	第1回テスト(範囲:レポート1, 2, 3)		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	
第6回	6月28日	アフリカ,オセアニア,古アメリカ イスラーム世界の拡大と繁栄		p.59 ~163	4	7月5日		
第7回	7月5日	中世ヨーロッパ		p.52 ~140	5	7月19日		
第8回	7月19日	中華帝国の変容とモンゴル帝国 ほか		p.92 ~192	6	8月23日		
第9回	8月23日	まとめ						
テスト	9月6日	第2回テスト(範囲:レポート4, 5, 6)		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	

第1回	10月11日	大交易時代と世界の一体化 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大		p.141~143 p.170~224	7	11月1日		
第2回	10月25日							
第3回	11月1日	国民国家と近代社会の形成		p.216 ~257	8	11月8日		
第4回	11月8日	世界市場の形成とアジア諸国の変容 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行		p.245 ~290	9	11月15日		
第5回	11月15日	まとめ						
後期 テスト	11月29日	第3回テスト(範囲:レポート7, 8, 9)		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	
第6回	12月6日	第一次世界大戦の展開と諸地域の変容		p.275 ~325	10	12月13日		
第7回	12月13日	国際協調体制の動揺と第二次世界大戦		p.308 ~339	11	12月20日		
第8回	12月20日	冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 冷戦の世界化と国際制度		p.332 ~383	12	1月10日		
第9回	1月10日	まとめ						
テスト	1月31日	第4回テスト(範囲:レポート10, 11, 12)		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	

履修上の注意	各レポートの提出期限を遵守すること。テストまでに対象のレポートが全て合格していること。テスト当日にレポートを提出しても受験できないので注意すること。
--------	--

日曜

4年

教科名	科目名	履修条件		必履・選択必履・選択の別	担当教員
数学	数学B	数学Iを履修後に受講		選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
前期 2	前期 9	前期 4	前期 2	前期 6	前期 9月2日

教科書・ 学習書等	数研出版 新高校の数学B(714)	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力を身に付けている。 確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月19日	等差数列		8～15	1	4月26日		
第2回	4月26日	等比数列		16～23	2	5月10日		
第3回	5月10日	和の記号 Σ 、階差数列		24～31	3			
第4回	5月17日	和の記号 Σ 、階差数列		24～31	3	5月31日		
第5回	5月31日	確率		46～47	4			
前期 テスト	6月7日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）		受験したら○→		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第6回	6月21日	確率		46～47	4	6月28日		
第7回	6月28日	確率変数と確率分布		48～53	5			
第8回	7月19日	確率変数と確率分布 二項分布		48～57	5,6	8月23日		
第9回	8月23日	二項分布		54～57	6	9月2日		
テスト	9月6日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）		受験したら○→		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	
--------	--

日曜

4年

教科名	科目名	履修条件			必履・選択必履・選択の別	担当教員
理科	生物	生物基礎を履修していること			選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日	
前期 2	前期 9	前期 8	前期 2	前期 6	前期 9月 2日	
後期 2	後期 9	後期 8	後期 2	後期 6	後期 1月27日	

教科書・学習書等	生物701（東京書籍） ニューステージ生物図表（浜島書店）	対応視聴番組※ NHK高校講座「生物基礎」	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標				
生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
生物学の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	対応視聴番組※の回	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
前期	第1回	4月19日	1編 生物の進化 1章 生命の起源と細胞の進化 2章 遺伝子の変化と進化のしくみ	1～8		P10～23	1		
	第2回	4月26日	2章 遺伝子の変化と進化のしくみ 3章 生物の系統と進化	1～8		P24～39	1.2	No.1 5月10日	
	第3回	5月10日	3章 生物の系統と進化	1～8		P40～57	2	No.2 5月17日	
	第4回	5月17日	2編 生命現象と物質 1章 細胞と物質	1～8		P58～76	3		
	第5回	6月7日	1章 細胞と物質 2章 代謝とエネルギー	1～8		P77～100	3.4	No.3 6月21日	
	テスト	6月21日	2章 代謝とエネルギー	1～8		P100～123	4	No.4 6月28日	
	第6回	6月28日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）		受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	
	第7回	7月5日	3編 遺伝情報の発現と発生 1章 遺伝情報とその発現	9～16		P128～144	5		
	第8回	7月19日	1章 遺伝情報とその発現 2章 発生と遺伝子発現	9～16		P145～171	5.6	No.5 8月23日	
	第9回	8月23日	2章 発生と遺伝子発現	9～16		P172～189	6	No.6 8月31日	
テスト	9月6日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）		受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

後期	第1回	10月11日	3章 遺伝子を扱う技術	9～16		P190～220	7		
	第2回	10月25日	3章 遺伝子を扱う技術 4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応	17～27		P221～244	7.8	No.7 11月1日	
	第3回	11月8日	1章 動物の刺激の受容と反応	17～27		P245～261	8	No.8 11月15日	
	第4回	11月15日	2章 動物の行動	17～27		P262～298	9		
	第5回	11月29日	2章 動物の行動 3章 植物の環境応答	17～27		P299～334	9.10	No.9 12月6日	
	第6回	12月6日	3章 植物の環境応答	28～40		P335～367	10	No.10 12月13日	
	テスト	12月13日	第3回テスト（範囲：レポート7, 8, 9）		受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	
	第7回	12月20日	5編 生態と環境 1章 個体群と生物群集	28～40		P370～390	11		
	第8回	1月10日	1章 個体群と生物群集 2章 生態系の物質生産と物質循環	28～40		P390～419	11.12	No.11 1月17日	
	第9回	1月17日	2章 生態系の物質生産と物質循環 3章 生態系と人間生活	28～40		P420～445	12	No.12 1月25日	
テスト	1月31日	第4回テスト（範囲：レポート10, 11, 12）		受験したら○➡			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 必要面接時間数が多いので欠席しないこと。 レポートが合格していないとテストを受けることはできません。 レポート提出期限を守ってください。
--------	--

日曜

4年

教科名	科目名	履修条件		必修・選択必修・選択の別	担当教員
保健体育	体育④	なし		必修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
前期 1	前期 7	前期 5	前期 1	前期 2	前期 9月 2日
後期 1	後期 7	後期 5	後期 1	後期 2	後期 1月27日

教科書・学習書等	大修館書店 現代高等保健体育701・NHK出版学習書	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
各種の運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動をするための課題を発見し、親しむ態度を養う。			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体育理論との関連を図り、選択した種目の基本的な技術を身に付ける。		自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的に解決することができる。	公正に対する意識を強く持ち、性別や年齢、障がいの有無にかかわらずスポーツを楽しむことができる。

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
前期	第1回	4月19日	オリエンテーション 体育理論 (No. 1について)		P182～P189	1	5月10日	
	第2回	5月10日	体育理論 (No. 2について)		(学習書) P104～107	2	5月17日	
	第3回	5月17日	体づくり運動					
	第4回	6月7日	バドミントン					
	第5回	6月21日	〃					
	第6回	6月28日	〃					
	第7回	7月5日	〃					
	テスト	9月6日	第1回テスト（範囲：レポート1，2）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	

後期	第1回	10月4日	オリエンテーション 体育理論 (No. 3について)		P190～P195	3	10月11日	
	第2回	10月11日	体育理論 (No. 4について)		(学習書) P108～109	4	10月25日	
	第3回	10月25日	体づくり運動					
	第4回	11月8日	バドミントン					
	第5回	11月29日	〃					
	第6回	12月13日	〃					
	第7回	1月10日	〃					
	テスト	1月17日	第2回テスト（範囲：レポート3，4）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	

履修上の注意	前後期、第1回、第2回およびテストは教室で行うため体操服は不要。教科書・学習書・レポートを持参すること。前後期、第3回～第7回は体育館で行う。本校指定の体操服・シューズで参加すること。テストの出席は必要面接時間数には入りません。必要面接時間の5時間で授業をとってください。
--------	--

日曜

4年

教科名	科目名	履修条件	必履・選択必履・選択の別	担当教員
芸術	音楽 I	なし	選択必履修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数
後期 2	後期 9	後期 8	後期 2	後期 6
レポート・放送視聴票最終締め切り日 後期 1月27日				

教科書・学習書等	大修館(音 I 050-901) 音楽 I 改訂版Tutti+、NHK出版学習書	対応視聴番組※ NHK高校講座「音楽 I」※	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標				
音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。				
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲(レポート番号)	対応視聴番組※の回	出席記録	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	10月4日	校歌 音楽とは?	1, 2		1	11月8日		
第2回	10月11日	音楽の仕組みの第一歩	4, 5, 6					
第3回	11月8日	いろいろな楽器・楽曲・演奏形態を知ろう	15, 17		2	11月15日		
第4回	11月15日	「野ばら」「シューベルト」を知ろう	20, 21		3	11月29日		
第5回	11月29日	やさしい西洋音楽史① (No.6のレポートを持参すること)	8, 14, 15, 17, 21, 30		6			
前期 テスト	12月6日	第1回テスト(範囲:レポートNo.1~3) 教科書・学習書持ち込み可		受験したら○ →		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第6回	12月13日	外国の歌曲を比べてみよう	19, 23, 35		4	12月20日		
第7回	12月20日	ミュージカルと映画音楽	33, 36		5	1月10日		
第8回	1月10日	日本の歌曲を歌おう	7, 9, 10		6	1月20日		
第9回	1月17日	やさしい西洋音楽史②	21, 25, 26, 31					
テスト	1月31日	第2回テスト(範囲:レポートNo.4~6) 教科書・学習書持ち込み可		受験したら○ →		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	毎回、資料のプリント、レポート持参のこと。 必要面接時間数が多いので欠席しないこと。 レポートが合格していないとテストを受けることはできません。レポート提出期限を守ってください。
--------	---

日曜

教科名	科目名	履修条件		必履・選択必履・選択の別	担当教員
芸術	美術 I	なし		選択必履修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日
後期 2	後期 9	後期 8	後期 2	後期 6	後期 1月27日

4年

教科書・ 学習書等	日文(美 I 116-901)新・高校美術1、 NHK出版学習書	対応視聴番組※ NHK高校講座 「美術 I」※	成績評価の 方法	学習態度、レポート、テストの成績を 総合的に評価
学習の到達目標				
美術の創作活動を通じて、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。				
知識・技能		思考・判断・表現		
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。		造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。		主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲(レポート番号)	対応視聴番組※の回	出席記録	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	10月4日	アート思考について	1, 2, 3		1	10月11日		
第2回	10月11日	樹を描く	4, 5, 6		2	11月8日		
第3回	11月8日	樹を描く 積み木または座りにくい椅子(2択)	7, 8		3	11月15日		
第4回	11月15日	2択 課題仕上げ	9, 10			11月25日までに作品提出		
テスト	11月29日	第1回テスト(イマジネーションテスト I)		受験したら○ →		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
前期	第5回	仮面の制作	11, 12		4	12月13日		
	第6回	仮面の制作 仮面の自画像	13, 14		5	12月20日		
	第7回	仮面の自画像	15, 16		6	1月17日		
	第8回	仮面の自画像	17, 18					
	第9回	冊子づくり	19, 20			1月20日までに作品提出		
テスト	1月31日	第2回テスト(イマジネーションテスト II)		受験したら○ →		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	作品が提出され合格していないとテストを受けることはできない。 必要面接時間数が多いので欠席しないこと。
--------	--

日曜

4年

教科名	科目名	履修条件			必修・選択必修・選択の別	担当教員
芸術	書道 I	なし			選択必修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日	
後期 2	後期 9	後期 8	後期 2	後期 6	後期 1月27日	

教科書・ 学習書等	東京書籍（書 I 002-901） 書道 I、NHK出版学習書	対応視聴番組※	成績評価の 方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
		NHK高校講座「書道 I」※		
学習の到達目標				
書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的能力を伸ばす。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
日常生活における書の効用や日本及び中国等の書の文化などを理解し、そのよさや美しさを味わう。		創造的な表現をするために書写能力を高め、用具・用材を生かして表現する力を身に付ける。		書を愛好し、意欲的・主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わう。

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	対応視聴番組※の回	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	10月4日	書写から書道へ 用具用材の扱い方・基本点画	1, 2		p. 4～p. 11				
第2回	10月11日	楷書の学習① 九成宮醜泉銘・孔子廟堂碑 (表現の比較を通して特徴を捉える・レポート1)	3, 4		p. 14～p. 27	1	11月8日		
第3回	11月8日	楷書の学習② 雁塔聖教序・自書告身 (表現の比較を通して特徴を捉える・レポート2)	5, 6		p. 28～p. 35	2	11月15日		
第4回	11月15日	楷書の学習③ 楷書古典の臨書作品制作 (好きな楷書古典の臨書作品を制作・レポート3)	9, 10		p. 18～p. 41	3	12月6日		
第5回	11月29日	楷書の学習③ 楷書古典の臨書作品制作 (好きな楷書古典の臨書作品を制作・レポート3)	11, 12						
第6回	12月6日	行書の学習① 蘭亭序(レポート4)	7, 13		p. 42～p. 52	4	12月13日		
テスト	12月13日	第1回テスト(硬筆)(範囲:レポート1, 2, 3)		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう			
第7回	12月20日	行書の学習② 風信帖(レポート5)	8, 17		p. 56～p. 62	5	1月10日		
第8回	1月10日	漢字仮名交じりの書① (古典の書き下し文・レポート6)	14, 15, 16		p. 108～p. 127	6	1月20日		
第9回	1月17日	漢字仮名交じりの書② (古典の書き下し文・レポート6)	19, 20						
テスト	1月31日	第2回テスト(硬筆)(範囲:レポート4, 5, 6)		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう			

履修上の注意	半紙は各自持参、もしくは授業時に購入となります。 必要面接時間数が多いので欠席しないこと。 レポートが合格していないとテストを受けることはできません。レポート提出期限を守ってください。
--------	--

日曜

教科名	科目名	履修条件		必履・選択必履・選択の別	担当教員
家庭	家庭基礎	家庭総合を修得していない		選択必履修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日
前期 2	前期 9	前期 6	後期 2	前期 6	前期 9月 2日

4年

教科書・学習書等	教育図書 家基006-901 『ウェルビーイングにつなぐ家庭基礎365』 最新生活ハンドブック（第一学習社）	対応視聴番組 教科担当の指示による	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標				
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。		

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月19日	生涯の生活設計 1 青年期の自立と家族・家庭		p 5～p 26	1	4月26日		
第2回	4月26日	子どもの生活と保育		p 27～p 46	2	5月10日		
第3回	5月10日	高齢期の生活と福祉・共生社会と福祉		p 47～p 68	3	5月17日		
第4回	5月17日	食生活と健康		p 69～p 122	4	6月7日		
第5回	5月31日	〃		p 69～p 122				
前期 テスト	6月7日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第6回	6月21日	衣生活と健康・住生活と住環境		p 123～p 168	5	7月19日		
第7回	6月28日	〃		p 123～p 168				
第8回	7月19日	生活における経済の計画・消費生活と意思決定 持続可能なライフスタイルと健康、 生涯の生活設計 2		p 169～p 213	6	8月26日		
第9回	8月23日	〃 まとめ		p 169～p 213				
テスト	9月6日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	
--------	--

日曜
4年

教科名	科目名	履修条件		必修・選択必修・選択の別	担当教員
家庭	保育基礎	なし		選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日
後期 2	後期 9	後期 6	後期 2	後期 6	後期 1月27日

教科書・ 学習書等	教育図書 「家庭706」 『保育基礎 ようこそ、共に育ち合う保育の 世界へ』	対応視聴番組 教科担当の指示による	成績評価の 方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標				
家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
子どもの発達の特徴、生活と保育に関する知識を総合的に理解しているとともに、保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。		子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を発見し、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。		子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身に付けている。

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポート No.	提出期限	送付・提出した日	レポート 受取日
第1回	10月4日	子どもの保育		p 5～ p 26	1	10月11日		
第2回	10月11日	子どもの発達		p 27～ p 50	2	11月8日		
第3回	10月25日	〃		p 27～ p 50	2			
第4回	11月8日	子どもの健康と生活、子どもの食事		p 51～ p 73	3	11月15日		
第5回	11月15日	子どもの衣服と寝具、子どもの健康と安全		p 74～ p 96	4	/		
後期 テスト	11月29日	第1回テスト（範囲：レポート1，2，3）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第6回	12月6日	子どもの衣服と寝具、子どもの健康と安全		p 74～ p 96	4	12月13日		
第7回	12月13日	子どもの福祉		p 97～ p 108	5	12月20日		
第8回	12月20日	子どもの文化		p 109～ p 133	6	1月10日		
第9回	1月10日	まとめ						
テスト	1月17日	第2回テスト（範囲：レポート4，5，6）		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	
--------	--

日曜
4年

教科名	科目名	履修条件			必修・選択必修・選択の別	担当教員
商業	ビジネス基礎	なし			選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日	
前期 2	前期 9	前期 4	前期 2	前期 6	前期 9月 2日	
後期 2	後期 9	後期 4	後期 2	後期 6	後期 1月27日	

教科書・学習書等	実教「商業007-901」ビジネス基礎・学習書	対応視聴番組	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
		NHK高校講座「ビジネス基礎」※		
学習の到達目標				
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。		ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。		ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として当事者としての意識をもち、積極的にに関わり、ビジネスの創造と発展に取り組もうとしている。

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	対応視聴番組※の回	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
前期	第1回	4月19日 私たちの社会とビジネス	1		P20～P34	1	4月26日		
	第2回	4月26日 ビジネスとコミュニケーション	2		P36～P56	2	5月10日		
	第3回	5月10日 経済と流通の基礎	3, 4, 5		P58～P74	3			
	第4回	5月17日 //	"		"	3	5月31日		
	第5回	5月31日 ビジネスの種類・小売業	6, 7		P76～P91	4			
	テスト	6月7日	第1回テスト（範囲レポート1, 2, 3）		受験したら○→		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
	第6回	6月28日 ビジネスの種類・小売業	6, 7		P76～P91	4	7月5日		
	第7回	7月5日 卸売業・物流業	8, 9		P92～P97	5	7月19日		
	第8回	7月19日 金融業・情報通信業	10, 11		P98～P112	6			
	第9回	8月23日 //	"		"	6	9月2日		
テスト	9月6日	第2回テスト（範囲レポート4, 5, 6）		受験したら○→		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう			

後期	第1回	10月4日 ビジネスと企業	12		P104～P121	7			
	第2回	10月11日 //	"		P104～P159	7	10月25日		
	第3回	10月25日 マーケティングの重要性・資金調達・財務諸表の役割	13, 14, 15		P122～P159	8	11月8日		
	第4回	11月8日 企業活動と税・雇用	15, 16		P44～P61	9	11月15日		
	第5回	11月15日 売買取引の手順・代金決済	17, 18		P62～P75	10			
	テスト	11月29日	第1回テスト（範囲レポート7, 8, 9）		受験したら○→		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
	第6回	12月6日 売買取引の手順・代金決済	"		P62～P75	10	12月13日		
	第7回	12月13日 代金決済・ビジネス計算の基礎	18, 19			11	1月10日		
	第8回	1月10日 ビジネス計算の応用・身近な地域のビジネス	19, 20		P252～P267	12			
	第9回	1月17日 //	"			12	1月27日		
テスト	1月31日	第2回テスト（範囲レポート10, 11, 12）		受験したら○→		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう			

履修上の注意	教科書と学習書をよく読んで、報告課題を丁寧に仕上げること。
--------	-------------------------------

日曜

4年

教科名	科目名	履修条件			必修・選択必修・選択の別	担当教員
商業	簿記	なし			選択必修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日	
前期 2	前期 9	前期 4	前期 2	前期 6	前期 9月 2日	
後期 2	後期 9	後期 4	後期 2	後期 6	後期 1月27日	

教科書・ 学習書等	実教「商業007-904」新簿記、最新段階式 簿記検定問題集全商3級	対応視聴番組※	成績評価の 方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
		簿記		
学習の到達目標				
企業経営の基礎となっている会計制度の内容を知り、取引を仕訳し、勘定記入を経て、決算に至る簿記の基本的な実務に習熟する。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。		取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身に付けている。		企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適性な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	対応視聴番組※の回	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月26日	簿記の基礎 資産・負債・資本と貸借対照表	1・2		P14-P24	1			
第2回	5月10日	収益・費用と損益計算書	3		P14-P24 P25-P39	①・2	5月17日		
第3回	5月17日	取引と勘定	4		P25-P39	②	5月31日		
第4回	5月31日	仕訳と転記 仕訳帳と総勘定元帳	5		P40-P52	3			
第5回	6月7日	試算表	6		P40-P52 P53-P63	③・4	6月21日		
第6回	6月21日	精算表	6		P53-P63	④	7月5日		
テスト	6月28日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第7回	7月5日	決算1	7		P64-P76	5			
第8回	7月19日	決算2 現金・預金などの取引1	8・9・10		P64-P76 P77-P93	⑤・6	8月23日		
第9回	8月23日	現金・預金などの取引2	10・11		P77-P93	⑥	9月2日		
テスト	9月6日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

第1回	10月11日	商品売上の取引1（3分法）	12		P94-P99	7			
第2回	10月25日	商品売上の取引2（商品有高帳）	12		P94-P99 P100-P109	⑦・8	11月1日		
第3回	11月1日	掛け取引1（売掛金）	12		P100-P109	⑧	11月8日		
第4回	11月8日	掛け取引2（買掛金） その他の債権・債務の取引	15		P110-P124	9			
第5回	11月15日	固定資産の取引 販売費および一般管理費	14		P110-P124 P125-P144	⑨・10	11月29日		
第6回	11月29日	決算整理（その1）	17		P125-P144	⑩	12月13日		
テスト	12月6日	第3回テスト（範囲：レポート7, 8, 9）		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第7回	12月13日	8桁精算表	18		P145-P162	11			
第8回	12月20日	帳簿決算	18		P145-P162 P164-P180	⑪・12	1月10日		
第9回	1月10日	会計帳簿 伝票の利用			P164-P180	⑫	1月27日		
テスト	1月31日	第4回テスト（範囲：レポート10, 11, 12）		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	簿記を理解するには日々の反復学習が重要で、学習を怠るとわからなくなってしまう。授業は、自宅でレポートをひと通りやって受講してください。資格取得を目指すこともできます。
--------	---